

第二十六回帝國議會 衆議院 砂糖消費稅法中改正法律案外七件委員會會議錄(速記)第七回

會議

明治四十三年二月九日午後一時五十八分開議

出席委員左ノ如シ

菊池 侃二君	佐野 春五君	近江谷 榮次君
森 正君	的野 半介君	關田 嘉七郎君
柵瀬 軍之佐君	綾部 惣兵衛君	岩下 清周君
中倉 万次郎君	肥後 幸盛君	三土 忠造君
中村 啓次郎君	有田 源一郎君	夏井 保四郎君
遠藤 吉平君	阪 泰碩君	河上 英君
松田 吉三郎君	乾 龜松君	大繩 久雄君
竹内 正志君	矢島 浦太郎君	中村 豐次郎君
飯田 精一君		

出席政府委員左ノ如シ

大藏次官 若槻禮次郎君	大藏省主稅局長 菅原 通敬君
大藏書記官 鈴木 繁君	大藏書記官 今村 次吉君
大藏書記官 吉川 貞矩君	

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

砂糖消費稅法中改正法律案
織物消費稅法案
砂金採取地稅法案
取引所稅法中改正法律案
狩獵法中改正法律案
鑛業法中改正法律案
登錄稅法中改正法律案
賣藥稅法中改正法律案

○委員長(菊池侃二君) ソレデハ是ヨリ開會致シマス

○矢島浦太郎君 是ハ豫算ノ箇條ニ關係ヲ持ッテ居ルヤウニ存ジマスルカラ、ソレ等ノ箇條ノ關係ヲ更ニ取調ベガシタイ、尙他ノ稅目ニ於テ若クハ稅法ニ於テ改正スベキモノガアルヤウニ、今迄ノ模様ニ依ッテ承知ヲ致シテ居リマスカラ、更ニ七名位ノ特別委員ヲ舉ゲマシテ、サウシテ其交渉妥協ノ結果ニ基イテ、是ハ如何ナル風ノモノデアアルカト云フコトノ調査ヲモシ、併セテ此付議シテゴザイマスル議案全體ニ對シテ、改正スベキ點ヲ審議致シマシタ方ガ、却テ便利ヲ殊ニ事務ノ進歩ニナルト考ヘマスカラ、七名ノ委員ヲ委員長ノ指名ニ依ッテ舉ゲテ、サウシテ委員長ヲ加ヘマシテ、サウシテ特別委員會ヲ開イテ本案ヲ審議シテ、即チ當局者ニ質スベキコトハ質シ、之ヲ議シマシタナラバ却テ撻取ルト存ジマスルカラ、左様ナ動議ヲ提出致シマス、何分御贊成ヲ願ヒマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○委員長(菊池侃二君) ソレハ今日直チニヤルト云フ、サウシテ直チニ報告シテ、直ニ議事ニ掛ケルト云フ御積リデスカ

○矢島浦太郎君 サウデス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○委員長(菊池侃二君) 矢島君ノ動議ニハ段々贊成ガアリマスカラ、ソレデハサウ決メテ宜シウゴザイマスガ

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○委員長(菊池侃二君) ソレデハサウ決メマス、チヨット御待ヲ願ヒマス、唯今直グ指名ヲ致シマスカラ、ソレデハ指名ヲ致シマス、綾部君ニ佐野君、飯田君、矢島君、松田君、遠藤君、中村君、三土君

〔ソレデハ八名ニナリマス〕ト呼フ者アリ

○矢島浦太郎君 宜イデヤアリマセヌカ、委員長ヲ加ヘテ九人ニナルカラ……

○委員長(菊池侃二君) 宜シウゴザイマスガ、ソレデハ今ノヤウニ八人ヲ指名致シマスカラ、直チニ御相談ヲ下サリタイデアリマス、是非共豫算報告マデニヤリタイト云フ積リデスカ……

○乾龜松君 私ハチヨット中席シテ居ッテ詳シク聽キマセンカタガ、今御發議ナスッタ方カラ内々承ツタ、委員長ノ前ノ報告ハ今直ニ其委員ヲ拵ヘタナラバ、直ニ交渉スル者ハ交渉シ、協議スル者ハ協議シテ本會ニ報告シテ、今日決定スル、斯ウ云フ意味ダト云フコトノ發議者ノ御答デアッタ、ソレデハ私ハ異議ハ申サナダケレドモ、若シ今日ニ出來タ明日ニ廻ルト云フヤウナコトデアレバ、私ハ異議ヲ申シマス

○委員長(菊池侃二君) 委員長モ其積リデアリマス、ソレデハ直チニ御開キヲ願ヒマス、此會ハ暫ク休憩スルコトニ致シマス

午後二時六分休憩

午後三時五十九分開議

○委員長(菊池侃二君) ソレデハ是ヨリ開會致シマス、開會前ニチヨット御相談ヲ致シマス、特別委員會ニ於テノ經過ハ、政府委員モ御出席ニナッテ段々細密ナル調査ヲ二時間程ヤッタデアリマス、イロ／＼御意見モアリマシタケレドモ、兎ニ角今御報告ヲスル事柄ガ特別委員ニ纏マッタデアリマス、御意見ノアル御方ハ勿論御自由デアリマスケレドモ、御委セニナッタ特別委員ガ段々審査ヲシテ決メタデアリマスカラ、成ルベク時刻モ移ッテ居リマスカラ、其以上ハ宜シク御推察ヲ願ヒマス——ソレデハ先ヅ報告ヲ致シマス、砂糖消費稅法改正案、是ハ原案ニ決シマシタ、但シ此現行法ノ十一條ニ「政府ノ承諾ヲ受ケ砂糖、糖水又ハ酒精製造ノ原料トシテ製造場ヘ稅關又ハ保稅倉庫ヨリ引取ラル、砂糖及糖蜜ニハ消費稅ヲ課セス」斯ウ云フ特別ナルモノハ政府ノ承認ヲ得

テ、消費稅ヲ課セヌト云フコトニナッタノデアリマス、要スルニ製造ノ原料等ニ用井ルモノニハ、課セヌト云フコトニナッタノデアリマス、之ニ對シテ「其他ノ原料」ト云フ文字ヲ加ヘタ
イト云フ御説ガアッタデアリマス、政府ハ之ニ對シテ「其他ノ原料」ト申シテモ今漠然ト
シテ分ラナイ、今取調ベ中デアリカラ若シ取調ガ付イタナラバ、時機ヲ見テ工藝ノ發達
等ニ關スルモノハ消費稅ヲ免除スルヤウナコトヲ相談スルコトアルベシト云フノ御答ガア
タノデアリマス、ソレデ此原案ニ決定致シタノデアリマス、之ニ付テ御意見ハ如何デスカ

○柵欄軍之佐君 私ハ此消費稅法改正案ニ就キマシテハ總テ今同ノ改正案ニ
ハ疑義ヲ抱キ、極メテ砂糖ノ課稅ノ偏輕偏重ノアルコトヲ思フデアリマス、隨テ此改
正案ニ對シテ修正ノ意見ヲ有テ居リマシテ、先ツ第一條ノ「原案ニ依リマス」ト「第
十一號未滿ノ砂糖」トアルノヲ、之ヲ「十二」ト訂正致シマス、隨テ此用ノ樽入黒
砂糖、是ハ今日ノ課稅標準ニナリマス極メテ其上等砂糖トノ課稅ノ權衡ヲ得テ居
ヌノデアリマスカラ、一面砂糖獎勵ノ方針ニモ適ヒ、且ツ現在ノ糖業者ノ困苦ヲモ救
フト云フ點カラシテ、此消費稅ハ五十錢ヲ低減シテ一圓五十錢ニ致シタイト云フノガ、
私ノ修正デアリマス、其次ニ至リマシテ「其他ノモノ」トゴザイマス、此三圓ノ課稅ノ分
之ヲ「其他含蜜糖」ト訂正致シマス、是ハ重モニ御承知通り臺灣製産シマスル砂糖
アリマスルガ、今日臺灣總督府ハ此砂糖ノ獎勵ニ對シテハ、有アシ限リノ力ヲ用井、獎
勵保護至ラザルナキ有様ニ拘ラズ、此細民一般ノ多ク需用スルコト此赤砂糖ニ對
シテハ、稅ガ單リ高イノミナラズ、何等ノ保護モシテ居ラヌ、從ッテ此方ノ課稅ヲ重ク
ルト云フコトハ即チ細民ニ課稅スルト同シ結果ヲ生ズルデアリマスカラシテ、ドウカ此方ニ對
シテハヤハリ五十錢ヲ低減シテ、一圓五十錢ニ致シタイト希望デアリマス、ソレカラ第二種其
他ノ糖蜜ニナリマシテ「百分ノ六十ヲ超エサルモノ」トアリマスルガ、是モ多クノ場合ニ於
テ分蜜糖製造ノ場合ニ於テ生ズルコト「糖蜜ハ、四十ヲ超エサルモノハ多クナイノデア
リマスカラ、是モ六十ト云フモノヲ四十ニ下ゲマシテ、四十ヲ超エサルモノハ一圓トシテ、
尙其次三、六十ヲ超エサルモノハ二圓ト云フ一條ヲ加ヘマス、其他甲乙ノ次三丙ヲモウ
一ツ加ヘマシテ、其他ノモノハ三圓、即チ現在ノ改正法案ニ依ルト、一階級ニナッデ居ル
モノノ二階級ニ改メタイト云フノガ私ノ希望デアリマス、ソレカラ其次ニ於ケル即チ工業用
ニ消費シタルコト「糖蜜、是ニ對テハ現ニ政府委員ハ未ダドウ云フ方針デアルカ知ラ
ヌケレドモ、今直チニ同意スルコトハ出來ナイト云フコトヲ言ハレルガ、既ニ糖蜜ノ消費
ニ付テ今日當業者ハ非常ニ苦シテ居ル、隨ッテ是ニ對シテ何カ保護ヲ加ヘルコトガ急務
アル、所ガ幸ニ此糖蜜ヲ以テ煉炭製造化料ニ用井、或ハ染織料ニ使ヒ、或ハ馬糧
ノ一部ニ之ヲ供給スルコト云フコトガ出デ參リマシタカラ、ソレ等ノ上ニ付テハ無論此消費稅
ヲ課スルト云フコトハ殘酷デアリマスカラ、ヤハリ此ニ於テソレ等ノ製造原料トナルベキ
糖蜜ニ對シテハ自製製造原料ト同一ニ之ヲ免稅スルコトヲ希望シマス、之ヲ申上ゲデ置
キマス

○委員長(菊池侃二君) 柵欄サンノ修正說ニ御贊成ハアリマスカ
(贊成「ト呼ビ」討論終結「ト呼フ者アリ」)
○委員長(菊池侃二君) 討論ヲ終結シテ起立ニ諮ヒマス、柵欄サンニ御同意ノ御方
ハ起立

起立者 少數

○委員長(菊池侃二君) 少數デアリマスカラ原案ニ決シマス、政府委員ニ御諮ヒシマ
スガ先刻申シマシタコトハ調ベタ以上デハ考ガアルヤウナ御話デシタガ、チヨット一言確
メテ置キマス、要領ダケデ宜シウゴザイマスガ……

○政府委員(菅原通敬君) 唯今御尋ノコトハ先程委員長カラ御報告ニナリマシタ通
リノ趣意ヲ了承致シテ置キマス

○委員長(菊池侃二君) ソレデハ是ハ原案ニ決定致シマス、次ニハ織物消費稅ノ
方チヨット報告ヲ致シマス、織物消費稅ノ方デ特別委員ニ於テ修正セラレタノハ第十
八條ノ第四「收稅官吏ノ尋問ニ對シ虛偽ノ答辯ヲ爲シ又ハ其職務執行ヲ拒ミ之ヲ忌
避シ若クハ之ニ支障ヲ加ヘタルトキ」トアリマシテ、サウシテ此十八條ノ本文ニ「左ノ各項
ノ一ニ該當スル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス」トアリマス、是ニ修
正說ガ出マシテ「收稅官吏ノ尋問ニ對シ虛偽ノ答辯ヲ爲シ」是ハ勿論善イコトデアリ
マスマイガ、辯護トシテ多少間違ッタコトヲ言フマイトモ限ラヌ、之ヲ虛偽トシ
テ直チニ罰金ニ處ストカ、科料ニ處ストカ云フコトハ憲法治下ノ法律トシテ不穩當デア
ル、故ニ之ヲ「收稅官吏ノ職務執行ヲ拒ミタルトキ」ト斯ウ簡單ニ致シマス、勿論官吏ノ
職務ヲ拒ムト云フコトハ國民トシテハ出來ナイデアリマス、只尋問ニ對シテ虛偽ノ答辯
ヲシタカ何ト云フコトデ、直チニ罰金ニ處セラレテハ困ルカラ、斯様ナ修正ラスルト云
フコトニナッテ決議ニナッテ居リマス、其他ハ總テ原案通りデアリマス

○關田嘉七郎君 ソレハ決議ニナッタノデスカ

○委員長(菊池侃二君) 決議ニナリマシタ

○政府委員(菅原通敬君) 唯今ノ特別委員會ノ決議ノ報告ガアリマシタガ、ソレニ
對シテ政府ハ御同意致スコトハ出來ナイノデアリマスカラ、其事ヲ一應申上ゲテ置キマ
ス、之ヲ修正セラレタルコト「御趣意ハ、只今委員長カラ御報告ニナリマシタ通りニ、
此收稅官吏ノ尋問ニ對シ虛偽ノ答辯ヲ爲シタルト云フタメニ、直チニ罰金ヲ科セラレ
ルト云フコトハ是ハ甚ダ殘酷デアル、偶々間違ッタ申告ヲシタルト云ウヤウナタメニ罰金ニ處
ラレルト云フコトハ非立憲的ノヤリ方デアルカラ、ソレハ削ルガ宜シイ、斯ウ云フコト「御
趣意デアルカト承知致シタノデアリマス、然ルニ今委員長ノ御話ニナルヤウナ、或ル取調
ヲ受ケテ、ソレニ向ッテ間違ッテ虛偽ノ申告ヲシタルト云フヤウナ場合ニ於テハ、勿論是ハ
罰セラレルトハハナイデアリマス、惡意ニ虛偽ノ申告ヲナシテ、サウシテ自分ガ犯罪ヲ負
トカ、或ハ他人ニ罪ヲ嫁スルトカ云フヤウナ場合ニ於テ、始メテ之ニ該當シテ參ルノデア
リマス、ソレデ例ヘバ茲ニ犯則嫌疑者ガアル、其者ガ取調ヲ受ケタ場合ニ於テ、是ハ自
分ガヤッタンデヤナイ、是ハ何某ガヤッタンデアルト云フヤナ虛偽ノ申立デモ致シマス「云フ
收稅官吏ハ其者ノ言フトコロヲ信ジテ、或者ガヤッタンモノデアルト云フ者ニ付テ、取調ヲ
シナケレバナラヌト云フコトニナル、サウスルト其者ガ犯則處分法ニ依ッテ種々ナル取調ヲ
受ケル、時ニ依ルト家宅搜索ヲ受ケルトカ、或ハ物件差押ヲ受ケルトカ云フヤウナ迷惑ヲ
眞民ガスルト云フコトニナリマスカラ、サウ云フヤウナ迷惑ヲ、其本人ガ虛偽ノ申告ヲ
虛偽ノ答辯ヲシタガタメニサウ云フヤウナ迷惑ヲ罪、無イ者ニ嫁スルト云フコトニナリマス
ト、其者ガ非常ナル迷惑スルノミナラズ、此犯則ヲ取調ベルニ付テ甚ダ進行ヲ妨グル、勿

論斯ウ云フ規定アリマシタコロガ、ソレニ依ッテ何時デモ收税官吏ガ此者ハ虚偽ノ答辯ヲシタノデアアルカト言ッテ、犯罪ヲ問フト云フヤウナコトハソレハナイコトデアリマシテ、結局裁判ノ結果其者ガ斯ウ云フヤウナ虚偽ノ申立ヲナスモノデアルト云フトコロノ決定ヲ受ケテ、始メテソレニ依ッテ罪ヲ科セラレルト云フトコトナリデアリマシテ、御心配ニナルヤウナコトハナカラウト思フデアリマス、殊ニ此規定ハ此法律ニ於テ始メテ現ハレタモノデナク、既ニ税法ノ上ニ於テ同様ノ規定ガアル、ソレカラ後段ノ方ノ忌避シ若クハ之ニ支障ヲ加ヘタルトキ「云フ」ハ、是ハ税法ノ規定ニ於テハ例文ニナッテ居ルノデアアルカシテ、織物消費税法中ニ於テ「削」ラレルノハ反對ヲ致シテ置キマス

○關田嘉七郎君 私ハ此案ニ付キマシテ意見ヲ述ベマス、前ニ政府委員ニ一應確メテ置キタイコトガアリマス、チヨット御尋シテ置キタイガ差支アリマセヌカ

○委員長(菊池侃二君) 宜シウゴザイマス

○關田嘉七郎君 此法律ニ依リマスルト云フト、此頃來委員會ニ於テ政府委員ノ御答辯ニ依リマスレバ、此織物ヲ引取ルト云フハ仲買人若クハ販賣者其他ノ人ガ引取ラウトモ、製造者自身ガ引取人ニナッテモ何レデモ差支ヘナイノデアアルカラ、今マデノ非常特別税法中ニアル織物税ト大差ノナイト云フ御答辯デアッタ、所ガ此織物製造者自身ガ引取人ニナリマシタ場合ニ於テ、其引取人ナル者ハ此法律ニ依ッテハ何レノモノニナルノデアアルカ、ソマリ販賣業者若クハ仲買業者、仲買業者ト云フモノト同シ資格デ引取人ト云フトコトナレバ、若シ犯則ノ場合ニ於テハ「犯則者デモアッテ處分ヲ受ケル場合ニ於テハ製造人ハ一面ニ於テハ製造家ト云フ方ノ側カラ處分ヲ蒙ル又一面ニ於テ引取人ト云フ方カラ處分ヲ蒙ル、即チ一人ノ人ガ二ツノ罰則ヲ受ケルト云フトコトナリハセヌカト思ヒマスカラ、製造家自身ガ引取人ニナッテ場合ニ於テハ、之ヲ處分スル上ニ於テ製造家其者ヲ二重ニ處分スルト云フトコトナリデアアルカ、或ハ其場合ニ於テハドウ云フ方法ヲ取ラレマスカ、政府委員ノ言明ヲ此席ニ於テ聞イテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(菅原通敬君) 唯今ノ御尋ハ、此税法ノ第十條及第十一條ニ關係シテノ御尋デアルト心得テ居リマスガ、ソレデ宜シウゴザイマス

○關田嘉七郎君 宜シウゴザイマス

○政府委員(菅原通敬君) 此場合ニ於キマシテ製造人ガ織物ヲ自ラ引取り、税ヲ納付セズシテ自ラ引取ル、サウ云フトコトナリマス「云フト」、第十條ノ犯則ニナルノデアリマス、ソレカラ製造人ガ自ラ引取ルカ、同時ニ織物ノ引渡スルコトナリマス「ト」、第十一條ノ適用ヲ受ケルト云フトコトナリマス、ソレデハ現行ノ織物消費税法ニ付キマシテモヤハリ同様ノ規定ガアリマスガ、此場合ニ於キマシテハ製造人ガ自ラ引渡人トナリ、又自ラ引取人トナルト云フトデアリマスカラ、法律ノ嚴格ナル意味カラ申シマス「ト」、兩方ノ適用ヲ受ケベキモノデアルト信シテ居リマス、ソレデ裁判所ノ判決例モ多クハサウナッテ居ル様ニ聞イテ居リマス

○綾部物兵衛君 私ハ先刻委員會ニ於テ、此織物消費税法ノ廢税ノ意見ヲ述ベマシタガ、不幸ニモ倒レマシタ、併シ此場合ニ置キマシテ長イ理由ハ申シマセヌガ、吾々ハ又新會ノ同志其他ト共ニ、此織物消費税法ノ惡税デアルト云フ上カラ廢税案ヲ提出シデアリマシテ、其理由ハ既ニ二十五議會ニ於テ諸君ノ御耳ニモ屢々入レテアルコトデアアルカラ、

其理由モ事々シク長ク述ベルコトハ省キマシテ、茲ニ反對デアアルカラ此廢止ヲ主張シテ居ルニ依ッテ、此場合ニ於テモ此消費税法ノ改正法案ニ付テモ反對デアアルト云フトコトヲ述ベテ、而シテ一言否決ノ意見ヲコ、ニ發表シテ置キマス

○中村啓次郎君 織物業者ハ從來現行法ノ七條ニ依リマシテ「毛織物以外ノ消費税法ノ製造場、税關又ハ保税倉庫ヨリ織物ヲ輸出スル前之ニ相當印紙ヲ貼用シ税金ノ納付ニ代フヘシ」此規定ガアリマシタノニ、代フルニ、第四條ヲ以テシテ「消費税法ノ製造場、税關又ハ保税倉庫ヨリ織物ヲ引取ルトキ引取人ノ之ヲ納付スヘシ」之ヲ改メマシタルタメニ從來ノ標準換算サレテ、幾分カ惡税ノ緩和ヲ得テ、兩毛方面ニ於テハ七分位ノ課税ニナリ、名古屋方面ニ於テハ八分位ノ課税ニナリ、京都方面ニ於テハ六分餘ノ課税ニナッテ手心ヲサレテ幾分カ安シテ居ルノデアリマス、然ルニ此改正法ニ依リマシテハ、從來ノ標準課税ト云フモノガナクナッテ、法律ノ文面通り履行サレルト云フトコトヲ恐レテ、改正法ハ體ノ宜イ一種ノ増税案デアルト云フトコトヲ訴ヘル者ガアルノデアリマス、所デ先刻政府委員ニ斯ノ如キ冷酷ナルヤリ方ヲスル積リデ、斯ノ如キ改正法ヲ出シタノデアアルカト云フトコトヲ尋ネマシタラ、從來ノ通り標準課税ハ標準課税トシテ行フノデアアルト云フトコトヲ申サレタノデアアルデアリマスカラ、此機會ニ政府委員ガ唯今私ガ申シタル通り、法律ノ改正ニ依リマシテ從來ノ標準課税ト云フモノヲ改メナイト云フトコトヲ言明ヲシテ戴キタイ

○政府委員(菅原通敬君) 唯今御尋ノコトハ、大體ニ於テ其通りデアルト申上ケテ宜シイノデアリマスガ、御話ノ中ニ京都ノ方ニ於テハ六掛デアアル、又名古屋ノ方ニ於テハ八掛デアアル、又兩毛地方ニ於テハ七掛デアアルト云フヤウナコトナッテ居ルガ、其通りヤルノデアアルカト云フ御話デアリマスガ、ソレハ各地トモ變ラヌデアリマス、現在ニ置キマシテ織物ニ對シマシテ一々ノ査定ノ場合ニ於テ價格ヲ評定スルト云フトコトハ致シマセヌガ、豫メ或織物ニ對シマシテ標準ノ價格ヲ設ケテ査定ヲ致シテ居ル、其標準ノ價格ノ定メ方ハ何レノ地方ニ於テモ成ルベク同様ニナルヤウニ、公平ヲ保ッテ居リマスカラ、今仰セラルル三地方ニ於テ異ナルト云フトコトハナイ答デアアル、ソレハ姑ク措キマシテ、免毛角織物ノ課税方法ニ付テ、即チ其價格ノ評定方法ニ付テハ、法律上改正ガアッテモ現今ヤッテ居リマス「ト」少シモ變ヘナイ積リデアリマス、其事ダケハ申上ケテ置キマス

○乾龜松君 此際私ハ政府委員ニ尙一應質問ヲ致シタイト思ヒマス、織物税ノ惡税ト云フトコトハ天下ノ輿論ニナッテ居リマス「ト」過日政府委員ノ御答辯ニハ將來ニ於テモ織物消費税法ノモ、改正セヌ意見デアルト云フトコトヲ確言致サレマシタ、是ハ止ムヲ得ヌト致シマシテ、尙私ガ問ハント欲シマス「ト」コロハ、改正ハナサラヌケレドモ此織物税ノ中ニハ今ノ改正案デハマダ多少偏重偏輕ノ嫌ガアラウト思ヒマス、例ヘテ申シマス「ト」、綿布ト絹布トノ税率ヲ改正スルト云フノ御意思ガアルヤ否ヤト云フトコトヲチヨット伺ヒタイ

○政府委員(菅原通敬君) 其事ニ關シマシテハ前會ニモ御答辯申シテ居ル答デアリマスガ、唯今ノ所ニ於キマシテ綿布織物デアアル、或ハ絹織物デアアルト云フトコトニ依ッテ、其税率ニ等差ヲ設クルヤウナ考ハ有ッテ居リマセヌ

(討論終結) 討論終結ニ賛成「ト」呼フ者アリ

デス

〔異議ナシ〕と呼フ者アリ

○委員長(菊池侃二君) 是ハ報告通りニ極リマス、登録税法改正案ハ何等ノ意見モナク原案ニ極ッテアリマス

〔異議ナシ〕と呼フ者アリ

○委員長(菊池侃二君) 登録税法モ御異論ハナイト認メマス、ソレカラ取引所法案デス、之ニ付キマシテハイロ／＼御議論ガ出マシタガ、其結果原案ニ特別委員會ハ決定シタノデアリマス、其次ニハ狩獵法中改正案ハ修正ガ出マシタ、狩獵法改正案ハ、第十一條中金二十圓、四十圓トアルノヲ三十圓トシタ、ソレカラ其次ノ金十圓ヲ二十圓トアルノヲ金十五圓トシ、其次ニ金二圓ト五圓トアルノヲ四圓トシタ、要スルニ之ヲ採決シマスルト、一等三十圓、二等二十五圓、三等十四圓トスウナツテ、少シク政府案ヨリ減ジマシタ、其減ジタ理由ハ之ヲ減ゼラレテモソレダケ出願者ガ多イカラ收入ニハ差響キガナイト云フ見込デアリマス、サウシテ此狩獵者ノ一般ニ多ク便利ヲ與ヘルト云フ趣意デスクノ如ク極リマシタ

○政府委員(菅原通敬君) 此修正案ニ付キマシテハ、特別委員會デモ申上ゲマシタ通り、政府ハ御同意ヲ致シ兼ネルノデアリマス、既ニ政府ノ發案ト致シマシテ二十圓デアルトコロヲ二十圓、十圓デアルトコロノモノヲ五圓ニ輕減シタノデアリマス、御承知ノ通り他ノ諸税ニ付キマシテハ餘リ多クノ税率ノ輕減等ヲ致シテ居リマセヌノニ、此狩獵法ニ於キマシテハ特ニ是ダケノ輕減ニナリマス、其上ニ之ヲ輕減ナサルト云フト、他ノ税ニ對シテ權衡ヲ失スルコトニモナリマスシ、其結果トシテ歳入ヲ減ズルコトニナルノデアリマスカラ、既ニ政府ノ發案致シマシタコロニ於キマシテモ、此二等ニ付テハ二割ノ狩獵免許者ヲ増加スルモノデアアル、三等ニ付テハ五割ノ免許者ヲ増加スルモノデアアルトシテ計算致シマシタメニ、多少ノ增收ヲ見ルヤウニナツテ居リマスケレドモ、之ヲ此以上輕減致スト云フコトニナリマス、此輕減致シマシタ割合ニ應ジテ狩獵免許者ヲ見ルコトガ出來マセヌカラシテ、收入ノ上ニ大ナル減少ヲ見ルニ至ルダラウト思ヒマス、加之餘リ之ヲ輕減致シマス、爲ニ亂獵ニ陷リマスルカラ狩獵取締ノ方カラモ政府案ガ相當ト思ヒマス、是ニハ反對ヲシテ置キマス

○河上英君 本案ハ一昨年ノ議會ニ於キマシテ大多數デ此減税ノ建議ガ通過シテ居リマス、唯今政府委員ノ御述ベニナリマシタコトハ、ツマリ皆是ハ程度ノ見込ニ過ギナイ問題デアアル、政府委員モ必ズ削減ヲシテ、唯今御話ニナツタヤウナコトガ實行シ得ラレルカドウカ、恐ラク神ナラヌ菅原君デアアル以上ハ分ルマイト思フ、ソコテ私が勝手ニ計算シタノデアリマスケレドモ、免二角四十一年度ノ人員ガ四百三十四人、一等デ甲乙ヲ合セテ見マストサウナツテ居リマス、サウシテ其税率ガ四十圓デアツテ、一万二千三百六十圓ト云フコトニナツテ居ル、之ヲ吾々が修正ヲ致シマシタ所デハ、此人員ヲ五割増シテ六百五十一人トナリマス、此税額ヲ三十圓トシマシテ一万九千五百三十圓ト云フコトニナリマス、差引キマシタ所デハ、此政府案ト修正案トハ二千七百七十圓ノ餘裕ガアルノデアリマス、ソレカラ又二等ノ分デハヤハリ四十一年度ノ人員ガ千四百九十四人デ、之ニ對シマスル、收入ガ四万二千七百六十圓トナツテ居リマス、之ヲ修正シマ

シタコロノ人員ガ二千九百八十四人、即チ倍ト見積リマシタ額ヨリ割出シマスト四万四千七百六十圓ニナリマス、是亦二千圓ノ增收ガアルト見込シテ居リマス、ソレカラ三等ニアツテハ人員四万二千四百四十八人、假リ二二倍半トシ、政府モ是ハ二倍ニ見積ッテ居リマス、其人員ガ十一万三千八百八十八人ニナリマス、此收入ガ四十一万五千二百二十八圓ト致シマシテ、先キノ十一万八千二百二十圓ノ金ヲ此三等ニ合計致シマスレバ十二万二千九百九十圓ノ增收ニナリマス、是モ見込デアリマスカラ、私モ神ナラヌ者デアアルカラ確言スルコトモ出來マセヌガ、併ナガラ之ヲ縱シ半分ト見積ッテモ五六萬圓ノ增收ヲ見ル、ソレカラ此一般ノ亂獵ト云フコトガアリマシタガ、既ニ今回モ數通狩獵案ノ件ニ付キマシテハ、請願書モ出テ居リマスガ、或方面ニ於テハサウ云フ御感覺ハナイカモ知レナイガ、多クハ山間僻地ト云フ點カラ云フト害惡虫ノ害ヲ爲ス者ガ夥シイモノデ、近來ハ非常ニ農民モ困ッテ居リマス、今回ハ農民ニ付キマシテハ獨リ此問題ニ付テノミナラズ、餘程一般ニ重キヲ置イテ居ラレマスガ、ドウカ是モ間接デアリマスケレドモ、ツマリ農民保護ニ付テノ案デアリマス、是モ見込デアリマスガ、特別委員ノ方デモ御贊成ニナツテ居ル問題デアリマスカラ、ドウカ此委員會ニ於テモ御贊成アラムコトヲ偏ヘニ希望致シマス

○關田嘉七郎君 私ハ農民保護ノ趣意ニ於キマシテ、又害虫驅除ノ點ニ於キマシテ、是ハ原案ヨリモツト高ク致シタイノデアリマスケレドモ、已ムヲ得ズ政府案ニ同意ヲ表シテ置キマス

〔定數ヲ缺イテ居リマセウカ〕と呼フ者アリ

○委員長(菊池侃二君) 決ヲ採リマス、第一修正說カラ採リマス、即チ特別委員ノ決議シタ報告カラ採リマス、特別委員ノ決議シタ報告ニ御同意ノ方ハ起立

起立者 多數

○委員長(菊池侃二君) 九人デアリマス、多數デアリマスカラヤハリ修正說ニ決シマス、ソレデハ是デ全ク終リマシタカラ直チニ委員長ヘ報告ヲ致シマス

午後四時五十一分散會

明治四十三年二月十日印刷

明治四十三年二月十日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局